

令和 5 年度事業報告書

社会福祉法人名古屋市中区社会福祉協議会

I 第4次天白区地域福祉活動計画「てんてんプラン2019」の推進

令和元年度から令和5年度を計画期間とする第4次天白区地域福祉活動計画「てんてんプラン2019」を推進するため、住民参画のもと2部会および推進委員会体制を敷いて、計画実施項目に基づいた具体的な事業を企画・実施しました。

部会等	実施回数	主な協議内容（基本計画）
推進委員会 ※第1回第5次計画策定作業委員会と併せて開催	1回	・令和元年度から令和4年度までの振り返りと評価 ・第5次天白区地域福祉活動計画への継続事項の確認
ともいく（共育） ※第5次計画WG会議と併せて開催	3回	・ボランティア活動の情報収集と発信 ・ボランティア活動を始めるきっかけづくり ・多様な人々を理解し思いやる意識づくり ・誰もが行きたくなる店舗の増加につながる支援
つぶやき・キャッチ	※実施項目については事務局により進行	

1 基本目標 I 地域福祉活動の充実と専門職とのネットワークづくり

「小地域ごとに福祉ニーズをつかみ、それに対し住民や専門職の連携により解決する仕組みをつくる」

(1) 地域の福祉活動者と専門職のネットワーク拡充[基本計画1]

実施項目① 地域福祉活動者と専門職等の顔の見える関係をつくる

地域住民と専門職等の顔合わせの機会として、小地域ケア会議を全区で開催しました。

<今後の方向性>

今後の事業活動等において活かしていく（通常業務の中で推進）

(2) 福祉課題の協議の場の拡充[基本計画2]

実施項目② 地域福祉課題について話し合う機会（協議の場）の充実

「天白学区福祉プラン」の推進にあたり、新型コロナの影響で計画はほとんど中止になりましたが、いきいき支援センターの協力も得て「つながり部会」の提案から「孤独死STOP」運動につながりました。

<今後の方向性>

学区内の各種団体が話し合える機会をつくり、事業実施の中で関係性を一層深め、事業内容に応じて専門機関と連携できるよう努める（通常業務の中で推進）

実施項目③ 小地域ごとのニーズやつながり・潜在的ボランティアの可視化

平針南学区と高坂学区でそれぞれ地域支えあいマップの更新作業を行い、地域の様子を確認しました。

<今後の方向性>

要援護者の見守り等の手段の1つとして支えあいマップづくりを推進していく（通常業務の中で推進）

- (3) 人と人のつながりの中で、その地域の福祉ニーズや個々の困りごとをキャッチする[基本計画3]

実施項目④ 身近な地域に困りごとを「つぶやける場」を増やす

実施項目⑤ 地域共生社会を目指した意識啓発

推進協構成員等を対象に「地域福祉のすゝめ（主催：名古屋市・名古屋市社会福祉協議会）」を実施し、地域のつながりに関する基調講演や地域福祉活動の実践報告をとおして具体的な取り組みについて学ぶ機会としました。

＜今後の方向性＞

サロン活動や地域支えあい事業の相談窓口等、地域の困りごとを気軽に相談できる場所の拡充を目指すとともに、地域でのつながりについて意識を高められるよう啓発していく（第5次計画で継続）

2 基本目標Ⅱ 福祉環境づくり

「ボランティア活動に気軽に参加できる環境を整えるとともに、地域で暮らす多様な人々がお互いに認めあえる（共に生きようとする気持ちを育む）環境をつくる」

- (1) 気軽にできることからボランティア活動を始められる環境をつくろう

[基本計画4]

実施項目⑥ ボランティア活動の情報収集と発信

- ① 本会に寄せられる各種ボランティア活動にかかわるチラシや情報紙を窓口や掲示板を活用して設置しました。
- ② 募集されているボランティア活動の内容を集約・公表できる様式を活用し、募集元に記入していただいた様式を掲示板で公表しました。
- ③ ボランティア活動情報冊子「天白区ボランティア情報」の配布を継続しました。
- ④ ボランティア活動啓発チラシ「ちょっとしたことからできるボランティア活動」の配布を継続しました。

実施項目⑦ ボランティア活動を始めるきっかけづくり

ボランティア活動紹介パネルの展示や、ボランティア活動にかかわる情報提供や相談を行う「出張ボランティア展」を開催しました。

出張先：「みんなの元気フェスタ in てんぱく2023」

日時：令和5年11月18日（土）午前10時から午後4時

場所：天白区役所講堂

来場者数：102人（＝ボランティア活動啓発チラシ配布数）

＜今後の方向性＞

実施項目⑥と⑦を統一し、ボランティア活動の裾野を広げる取り組みを実施していく（第5次計画で継続実施）

(2) 共に生きようとする気持ちを育む環境をつくろう[基本計画5]

実施項目⑧ 多様な人々を理解し思いやる意識づくり

実施項目⑨ 誰もが行きたくなる店舗の増加につながる支援

「外出先の店舗での困りごと等に関するアンケート調査」(記述式)で集約できた168人分の声をもとに作成した啓発資料「みんなが『困った!』『助かった!』外出先での経験談をもとに私たちができることを考えてみましょう!」と「みんなが共に生きていくために、自分ができる行動を考えてみませんか」の配布を継続しました。

<今後の方向性>

多様な人々との交流事業の実施や、第4次計画での成果物である啓発資料をさらにブラッシュアップして活用すること等をとおして、人々の多様性を尊重し、思いやりの行動がとれる地域・人づくりを目指す(第5次計画で継続実施)

II 第5次地域福祉活動計画「てんてんプラン2024」の策定

地域住民や各専門機関等の参画のもと、令和6年度から令和10年度を計画期間とする第5次天白区地域福祉活動計画「てんてんプラン2024」を策定しました。

この計画に基づいて、実施項目ごとに事業を進めるとともに推進委員会を設置し、進行管理や取り組み内容の評価等を行うこととなりました。

○ 策定作業委員会

計画の策定方針及びスケジュール等を共有の上、各ワーキンググループ(WG)において議論を行った内容を計画(案)として取りまとめました。

○ WG会議

策定作業委員会の中に5つのWGを設置し、テーマごとに計画策定に向けた議論を行いました。

1 基本理念

「住みつづけたいまち天白」をめざして ※第1次計画から継続

2 基本目標

困りごとを抱えた人を地域住民と相談支援機関が連携・協働して受け止め、支えあえる地域づくり

3 基本計画・実施項目

(1) 学区における、ちょっとした生活の困りごとを住民同士で解決する仕組みの 拡充[基本計画1]

【実施項目1】ちょっとした困りごとを住民同士で解決する相談窓口を増やす

【実施項目2】学区における生活支援活動の充実

(2) 人々の多様性を尊重し、思いやりの行動がとれる地域・人づくり[基本計画2]

【実施項目3】多様な人々の存在に気づき、考える機会づくり

【実施項目4】ともに生きるための社会的障壁（バリア）をなくそう

【実施項目5】ボランティア活動のきっかけづくり

(3) 情報弱者へ情報を届ける仕組みづくり[基本計画3]

【実施項目6】情報弱者へ情報を届ける仕組みづくり

(4) 複合的な生活課題を抱えた住民に対する多様な支援機関の連携強化と社会参加の促進[基本計画4]

【実施項目7】多様な支援機関による協議の場づくり

【実施項目8】社会参加に向けたファーストステップ

Ⅲ 重層的支援体制整備事業の受託

名古屋市社会福祉協議会とコンソーシアム協定を締結の上、連携しながら名古屋市の事業受託法人の公募に応募し、令和5年8月に受託が決定しました。令和6年4月からの本格実施に向けて、令和5年10月から関係機関との協議・調整等をはじめとした事業実施の環境整備、関係機関への事業周知、市営一つ山荘内におけるつながりづくりの拠点（一つ山すてっぷる～む）の整備をすすめました。

また、準備期間から複合的な課題をもつ世帯に対する相談支援をはじめとしたケース対応を実施しています。

○ケース対応実績

【令和5年10月～令和6年3月】

区分	対応 ケース 数	回数					
		本人		家族		関係機関等	
		電話・ メール	訪問・ 面談	電話・ メール	訪問・ 面談	電話・ メール	訪問・ 面談
多機関協働	1	10	3	0	2	20	2
アウトリーチ	3	6	48	0	0	13	15
参加支援	0	0	0	0	0	0	0
その他	16	3	8	4	7	27	6
計	20	19	59	4	9	60	23

IV 継続事業の推進

1 地域福祉推進協議会（推進協）関連

（1）推進協の活性化

各学区に設立されている地域福祉推進協議会の活動を支援するために、本会の職員（コミュニティワーカー）の学区担当を配置し、運営の相談・援助・必要経費の一部の助成を行いました。

会長・担当者事務説明会

開催日	2月22日(木)
内 容	・第5次天白区地域福祉活動計画について ・助成金の報告、申請について
参加者	43名

（2）活動内容への支援

① 推進協活動経費の助成

17学区にある地域福祉推進協議会に活動経費の一部を助成しました。

【令和5年度助成額】 5,543,397円 —①

（各学区の主な実施事業）

学区名	ふれあいいきいきサロン	子育てサロン	ふれあいネットワーク活動	福祉学習会等	健康体操等	地域支えあい事業
平針南	○	○	○	○		○
平針	○	○	○	○	○	
平針北	○	○			○	○
原	○	○				
植田	○	○				
植田南	○	○			○	
植田北	○	○				
植田東	○	○		○		
大坪	○	○				
八事東	○	○		○		○
表山	○	○				○
天白	○	○				
山根	○	○	○	○	○	○
しまだ	○	○		○	○	○
高坂	○	○	○	○	○	○
相生	○	○	○	○		
野並	○	○				

② ふれあい給食サービス事業への助成・支援

高齢者等が一堂に会して食事をする会食事業と高齢者等の自宅に食事を配達する配食事業に実施回数および平均参加者数に応じた助成金を交付しました。

また、令和5年度当初はまだコロナ禍の影響も残り、会食での開催が難しい時期もありました。その場合は、食を介した交流（会食代替）事業に取り組んだ学区もありました。

【令和5年度助成額】 2,203,000円 —②

学区名	会食	会食代替	配食
平針南	○		○
平針北	○	○	
原	○		
植田		○	
植田南	○		
植田北	○		
大坪	○	○	
八事東	○	○	
天白		○	
山根	○		
しまだ		○	
高坂			○
相生	○	○	

2 ふれあい・交流イベント関連

(1) ふれあい・交流の場づくり

「ふれ愛ネット天白」との共同事業として、区内のボランティア団体や福祉事業所等が参加する実行委員会を組織し、ご来場の皆様に福祉やボランティアを身近に感じていただき、区の福祉や地域力の向上につなげることを目的として、「第37回天白区福祉区民のつどい」を開催しました。同時開催の「まつり天白2023」のステージでは、手話コーラスと歌・踊りを披露しました。

日 時：令和5年10月22日（日）午前10時から午後3時

場所・内容：①福祉広場（天白公園内南西側小公園）

福祉体験、ゲーム、製品販売、飲食模擬店、共同募金啓発など

②ふれあい広場（天白生涯学習センター）

工作、ゲーム、おもちゃ遊び、赤ちゃんコーナーなど

来場者数：45,000人（＝「まつり天白」事務局発表人数）

(2) 福祉活動者のつながるための場づくり

・ふれ愛ネット天白への支援

ボランティアや当事者団体、福祉施設などで組織されている「ふれ愛ネット天白」の運営と事業を支援しました。

部会	目的	活動内容
ふれあい部会	会員相互の交流・連携を深め、会員のスキルアップを目指す部会	風船バレー交流会（８月２６日（土）研修室） ボッチャ交流会（３月２３日（土）研修室）
P R 部会	区民に対して情報発信を行うとともに、会員相互の情報交換を目指す部会	・情報紙「ぱわわ」への情報掲載（９月号、３月号） ・マスコットキャラクターにこっちの活用

3 地域活動支援関連

（１）地域団体及び当事者団体への助成（赤い羽根共同募金助成金）

事業名	金額	助成先等
子育て・子ども支援関係	1,022,500 円	子ども会連合会、学童保育、子ども文庫 等
障がい関係	326,866 円	手をつなぐ育成会
地域福祉関係	3,785,000 円	17 学区推進協
福祉団体関係	270,000 円	民生委員児童委員連盟区支部、区戦没者遺族会、区シニアクラブ連合会、区保護司会 等

【助成総額】 5,404,366 円 —③

（２）その他の助成（本州建設特別助成金）

天白区ブックスタート事業への助成を行いました。

4 ボランティア関連

（１）ボランティアセンターの運営

ボランティアに関する総合窓口として、ボランティアセンターを設置し、ボランティア活動に関する相談や活動の調整、情報の提供、保険の受付を行いました。

①ボランティアニード対応状況

対応完了件数	対応状況		
	登録ボラ調整	その他調整	対応不可（依頼取り下げ含む）
158 件	136 件	19 件	3 件

②ボランティア登録状況

ボランティア登録	個人	115 名
	団体	150 団体（3,152 名）

（２）ボランティア活動の企画・実施

①点字教室の開催

視覚障がい者の重要な情報手段である点字についての理解を広げるとともに、活動者の養成をするため、ボランティアグループ「みなづき会」と協力して講座を開催しました。

【開催時期】 ①6月22日（木） ②6月29日（木） 全2回講座

【参加者】 各回2名

② 視覚障がい者ガイドボランティア養成講座の開催

視覚障がい者の外出支援を行うガイドボランティアについての理解を広げるとともに、活動者の養成をするため、ボランティアグループ「天白わかば」と協力して講座を開催しました。

【開催時期】 ① 11月1日（水） ② 11月8日（水）

③ 11月15日（水） 全3回講座

【参加者】 各回2名

③ 車いすボランティア養成講座の開催

車いす利用者や使用方法の理解を広げるとともに、学校や地域における福祉教育での活動者の養成を行うため、車いすボランティアグループ「はなぐるま」と協力して講座を開催しました。

【開催時期】 8月4日（金）

【参加者】 5名

④ シーンボイスガイド付き映画上映会の開催

シーンボイスガイドについての理解を深めることを目的に、ボランティアグループ「ボイス・ケイン天白」と共催でガイド付きの映画上映会を開催しました。

	第1回	第2回
開催日	令和5年8月6日(日)	令和6年3月3日(日)
会場	天白区在宅サービスセンター研修室	
参加者	17名	23名
タイトル	「そしてバトンは渡された」	「月の満ち欠け」

(3) 既存のボランティアのスキルアップ

① ボランティアの組織化・機能化

福祉教育における学習サポートを行うボランティアグループの機能促進のために、定例会を開催しました。

・車いすボランティアはなぐるま 年6回

・エルダーコンシェルジュきんもくせい 年10回

② 災害ボランティアセンターの設置・運営訓練

(防災ボランティアグループ「天白でいぷり」協力)

発災時に備え、災害ボランティアセンターの設置運営訓練を名城大学で関係者や地域住民、学生と協働して開催しました。

【テーマ】 「ICTを活用した災害ボランティアセンターの運営」

【開催時期】 11月9日(日)

【開催場所】 名城大学 11号館

【参加者】 23名

5 福祉情報関連

(1) 地域の福祉情報紙「ばわわ」の発行

本会の知名度向上と区民の福祉への関心を高めることを目的に、区内の福祉情報を提供する情報紙「ばわわ」を年2回発行しました。

【発行月】72号(9月)、73号(3月)

【発行部数】72号 56,600部/73号 56,350部

【配布先】中日新聞折り込み及びポスティングによる各戸配布、本会窓口、天白区内公所、福祉施設、コミュニティセンターなどでの配布。

(2) ホームページの運営

社協活動を区民に広く知ってもらうとともに、リアルタイムにボランティア活動情報や福祉イベント情報を提供しました。

【HPアドレス】<http://www.tenpaku-shakyo.com>

6 財源関連

(1) 会員及び賛助会員の募集・拡充

会 員(会費免除団体除く)		賛助会員	
区政協力委員会	17団体	個人会員	388件 438口
民生委員児童委員協議会	17団体	法人・団体会員	20件 33口
社会福祉施設	22施設		
社会福祉関係団体	8団体		
ボランティア活動団体	7団体		
地域関係団体	5団体		
76件 170,000円		408件 603,000円	

(2) 赤い羽根共同募金への協力

	実 績 額
赤い羽根共同募金運動(10月1日～12月31日)	7,964,801円
歳末たすけあい運動(12月1日～12月31日)	449,113円

○赤い羽根協賛書道・ポスター作品展

【期間及び場所】 10月21日(土)～10月29日(日)

天白図書館展示スペース

【応募総数】 書道 28校 127点 ポスター 23校 89点

○啓発活動

・街頭募金 10月2日(月) 24,176円

【地下鉄植田・原駅前】区政協力委員及び民生委員児童委員を中心にご協力

・イベント募金実績額 91,996円

学区のまつり、イベント等で募金活動を行いました。

(3) 寄附金・寄贈品の受入れ

	寄附金	寄贈品
件 数	1 2 件	1 件
金 額	6 5 5, 5 4 3 円	4 7, 0 0 0 円

< 拠点区分による助成金支出内訳 >

項目／拠点区分	法人運営	共同募金配分金	合 計
地域福祉推進協議会事業	3, 178, 397 円	2, 365, 000 円	① 5, 543, 397 円
ふれあい給食事業	783, 000 円	1, 420, 000 円	② 2, 203, 000 円
地域支えあい事業	958, 168 円	0 円	958, 168 円
サロン運営事業	1, 530, 000 円	0 円	1, 530, 000 円
高齢、障がい、子育て支援等	0 円	1, 619, 366 円	1, 619, 366 円
ブックスタート事業	2, 250 円	0 円	2, 250 円
合 計	6, 451, 815 円	③ 5, 404, 366 円	11, 856, 181 円

V 受託事業

1 高齢者はつらつ長寿推進事業

65 歳以上の高齢者を対象に健康体操やレクリエーションなどを通じ、介護予防や仲間づくりを行う「高齢者はつらつ長寿推進事業」を地域や学校、ボランティアの協力を得ながら区内 8 か所で実施しました。

※新型コロナウイルス感染症が 5 類に移行したことに伴い、6 月より通常開催。

曜日	AM PM	実施会場	前期			後期		
			延べ回数	実参加者数※1	延べ参加者数	延べ回数	実参加者数※2	延べ参加者数
月	AM	表山コミセン	23	20	325	22	15	370
	PM	植田南コミセン	23	22	469	22	24	441
水	AM	在宅サービスセンター	24	22	483	24	22	467
	PM	おおね荘 第3集会所	24	15	301	24	17	295
木	AM	平針南コミセン	25	21	388	23	19	438
	PM	山根コミセン	24	22	428	23	21	440
金	AM	野並コミセン	23	19	313	23	18	366
	PM	高坂荘 第2集会所	23	21	454	22	24	407

※1・・・9月末時点

※2・・・3月末時点

2 名古屋市地域支えあい事業

生活の困りごとを抱えた方に対し、近隣住民同士でちょっとした手助けを行う生活支援や、ひとり暮らし高齢者等を対象とした見守り活動等を7学区で実施しました。

学区	表山	高坂	山根	しまだ	平針南	平針北	八事東
登録ボランティア数	74 名	115 名	133 名	127 名	232 名	47 名	88 名
活動延人数	286 名	2,984 名	4,009 名	1,715 名	3,317 名	288 名	345 名
ボランティアポイント数※	1,753P	9,534P	6,306P	6,382P	11,383P	1,591P	1,676P
認定事業数	7 事業	13 事業	7 事業	6 事業	11 事業	5 事業	4 事業
生活支援事業	お助けマン事業	おたすけ高坂	やまねお助け隊	ちょボラお助け隊	お助け活動	ちょこつとボランティア平北	ちょこつとボランティアやごひが
生活支援利用登録者数	40 名	29 名	74 名	47 名	57 名	7 名	10 名

※1 ポイント 10 円で換算し、翌年度実施主体の各学区推進協へ還元

3 生活福祉資金貸付事業

愛知県社会福祉協議会の実施する生活福祉資金貸付事業の相談や、償還指導の窓口として運営に協力しました。

資金の種類		相談件数	貸付件数	金額
総合支援資金	生活支援費	35 件	0 件	0 円
	住宅入居費	73 件	0 件	0 円
	一時生活再建費	141 件	0 件	0 円
福祉資金	福祉費	103 件	9 件	3,091,000 円
	緊急小口資金	262 件	19 件	1,650,000 円
教育支援資金		50 件	6 件	11,011,000 円
不動産担保型生活資金		5 件	0 件	0 円
臨時特例つなぎ資金		0 件	0 件	0 円
合計		669 件	34 件	15,752,000 円

4 緊急小口資金償還事務

緊急小口貸付事業の貸付金の償還事務を行いました。

償還金額	0 円
貸付中件数	1 件(令和6年3月末現在)

5 名古屋市高齢者サロンの整備等生活支援推進事業

(1) ふれあい・いきいきサロンの設置・運営支援

新規サロンに対し開設助成を、実施サロンに運営助成を行いました。

開設助成 【助成団体】 1 団体【助成決定額】 50,000 円

運営助成 上半期【助成団体】 24 団体【助成決定額】 760,000 円

下半期【助成団体】 25 団体【助成決定額】 770,000 円

(2) 生活支援部会（協議体）の運営

天白区での地域包括ケアシステムの構築を図るため「生活支援部会」を地域包括ケアの作業部会に位置づけ、その事務局を運営しました。

①部会の開催

6 月 23 日（金）、10 月 26 日（木）、1 月 25 日（木）【計 3 回】

②取り組み内容

支援を必要としている高齢者が既存の社会資源を活用できるよう、まずは地域に暮らす元気な高齢者（支援が必要な高齢者の身近な人）へ情報提供するしくみについて協議しました。また、「わたしの応援ノート」の普及啓発を行いました。

VI 関係機関との連携・協力

1 学校関係

区民の福祉意識の向上やボランティア活動への関心を高めることを目的に、学校での福祉教育の振興・福祉体験活動を支援しました。学校や地域に対して手話や点訳、アイマスク、車いす、高齢者疑似体験などのプログラムを提案し、講師やボランティアの調整、講演会、資材の貸出を行いました。

対象	学校数	体験件数*	延べ人数
小学校	10 校	14 件	1,058 名
中学校	0 校	0 件	0 名
養護学校	0 校	0 件	0 名
高等学校	0 校	0 件	0 名
専門学校	1 校	6 件	161 名
合計	11 校	20 件	1,219 名

*体験件数の種類別

体験の種類	合計	内 訳
車いす	5 件	植田小、植田北小、しまだ小、専門学校 2 回
アイマスク	5 件	植田小、表山小、相生小、平針南小、野並小
高齢者疑似	5 件	山根小、植田小、しまだ小、専門学校 2 回
点字	2 件	植田北小、植田東小
手話	3 件	植田小、専門学校 2 回
合計	20 件	

2 行政関係

生活困窮者に対する応急的援助

被保護者や要援護者の緊急不測の事態に対し、応急的に資金の貸付を行うことで、自立更生意欲の助長と生活の安定を図ることを目的に、事業を行いました。
(区役所保護係に委託)

【実績】 1 2 2 件

3 NPO法人

本会とコンソーシアムを組んだ認定NPO法人たすけあい名古屋が、指定管理者として実施する天白福祉会館の管理・運営業務に協力しました。

4 各種団体

(1) 天白区障害者自立支援連絡協議会への協力

授産製品の販売（マーガレットマルシェ）や福祉施設の職員などを対象とした研修会、障がい者の作品展などの企画や運営に協力しました。

(2) 天白区子育て支援ネットワーク連絡会への協力

地域における子育て支援関係者のネットワーク連絡会に参加しました。

VII 施設の管理・運営

1 在宅サービスセンター

区社協の事務所がある原ターミナルビルの同フロアを活用し、在宅福祉サービスと地域における福祉活動を総合的に推進するための拠点として「在宅サービスセンター」を運営しました。

(1) 在宅サービスセンター施設利用状況

部屋	延べ利用団体数	利用者数
研修室	3 7 0 団体	5, 4 3 0 名
ボランティア室	2 8 4 団体	2, 2 3 1 名
点訳室	8 2 団体	2 3 5 名
録音室	9 0 団体	4 6 6 名

(2) 車いすの貸出

一時的に車いすの使用が必要になった方の生活支援や、教育機関等における福祉教育の推進を目的に、貸し出しをしました。

一般貸出	8 0 件
教育機関、地域団体等	1 2 件

(3) ボッチャの貸出

天白区内で地域福祉の推進活動を行っている団体・ボランティアグループや、天白区内の学校、福祉施設などに貸し出しをしました。

グループ・団体	12件
教育機関・福祉施設	0件
社協事業	17件

2 天白児童館（地域子育て支援拠点）

認定NPO法人たすけあい名古屋とのコンソーシアムによる指定管理者として、名古屋市天白児童館を管理・運営し、児童の健全育成や子育て支援を行いました。

（1）子ども育成事業

遊びを通して子どもたちの心身の健やかな育成を図り、情操を豊かにする季節・文化など55事業を実施し、延べ2,806名が参加しました。

子どもが主体となり企画・運営する子どものまち事業としてミニなつまつりを実施しました。また、子どもが意見表明する子どもサミットを実施するとともにアンケート（58名）を実施し、子どもの意見を児童館運営に生かす機会としました。

また、中高生が集い適切なサポートにより自主的に活動する場や機会を提供する中高生の居場所づくり事業“中高生のJI・KAN”（金曜日、44回、延べ243名）を実施しました。

（2）子育て支援事業

年齢に応じた子育て支援を充実し、より多くの親子が楽しめる事業を実施しました。また、親育ちにつながる「親支援講座」「離乳食を学ぼう」を実施しました。

事業名	開催数(回)	参加人数(人)
親子体育（1歳10カ月以上の幼児と保護者）	26	568
たのしいリトミック（1歳以上の幼児と保護者）	15	375
おやこであそぼ！（1歳以上の幼児と保護者）	18	333
絵本であそぼう（乳幼児と保護者）	11	129
ちびもも（0・1歳児と保護者）	5	59
ちびっこ体操（0・1歳児と保護者）	11	281
屋内遊園（乳幼児と保護者）	12	212
おひさまルーム（0歳児と保護者）＆（1歳児と保護者）	2	43
あかちゃんタイム（0歳児と保護者）	9	198
離乳食を学ぼう（乳幼児と保護者）	4	50
親支援講座（乳幼児と保護者） ＊連続3回講座	3	27
元気なお口を育てよう（0歳児と保護者）	1	15
「名古屋のびのび子育てサポート事業」説明会（生後57日～小6までの保護者）	2	20
すくすくバイオリンコンサート（乳幼児と保護者）	2	59
おやこでたのしいクリスマスコンサート（乳幼児と保護者）	2	76
ちびこなつまつり（1歳以上の幼児と保護者）	1	32
ちびっこクリスマス会（1歳以上の幼児と保護者）	1	36
節分あそびをしよう！（1歳以上の幼児と保護者）	1	40
ママのための骨盤調整ヨガ（妊婦、生後2カ月～未就園児の母親）	4	70
東海学園大学のお兄さん・お姉さんと遊ぼう！（6ヵ月から3歳児と保護者）	2	41
パパと運動しよう！（就園児と父親）	1	17

(3) 留守家庭児童クラブ(H31.3.31事業廃止)

(4) クラブ活動

将棋クラブ始め小学生を対象とした4クラブを実施し、異年齢や他学区の児童との交流を促進しました。

ク ラ ブ			定員(名)	在籍数(名)	開催数(回)	参加人数(人)
将 棋	通年		1 6	1 8	1 5	2 3 1
卓 球	通年		1 2	1 2	1 5	1 3 1
絵 画	前期		1 4	1 5	8	9 0
	後期		1 4	1 3	8	7 7
工 作	前期	1 部	6	6	8	4 4
		2 部	6	6	8	3 6
	後期	1 部	6	6	8	3 7
		2 部	6	6	8	4 0

(5) おでかけ児童館事業

児童館から遠方の公園・コミセンなどにスタッフが出向き遊びを提供しました。また、文化小劇場と共催し子ども向けの観劇「あらしのよるに」を実施しました。

事 業 名	場 所	参加人数(人)
観 劇 (文化小劇場共催、小学生と保護者) 8/3	文化小劇場	3 0 0
おでかけ児童館 in 相生 (乳幼児への遊びの提供) 8/28	相生コミセン	9
おでかけ児童館 in 植田 (乳幼児への遊びの提供) 11/10	植田コミセン	1 8
おでかけ児童館 in 大坪 (乳幼児への遊びの提供) 10/3	植田大坪公園	2 4
おでかけ児童館 in 植田東 (乳幼児への遊びの提供) 10/24	梅が丘記念館	2 4
おでかけ児童館 in 平針南 (乳幼児への遊びの提供) 12/8	平針南コミセン	3 4

(6) 天白福祉会館との合同事業 (世代間交流の促進)

児童と高齢者が交流する「なつまつり」「お花見会」などを実施しました。

事 業 名	開催日	参加人数(人)
夏野菜の植付け	4/2 1	2 0
初夏の風～フレッシュコンサート～	6/1 1	4 4
なつまつり	7/2 2	2 2 6
チューリップを植えよう	1 0/1 9	1 7
お花見会	3/2 9	8 4

(7) 中学生の学習支援事業

ひとり親・生活保護や生活困窮家庭の中学生に、学習方法や学習習慣の定着を図り、確かな学力や進学意欲を醸成する学習支援を実施しました。

中学生の学習支援 (登録数)	実施回数(回)	参加者数(人)	利用料
2 4 名(中 1 : 5 名, 中 2 : 9 名, 中 3 : 10 名)	1 0 4	7 1 6	無 料

(8) 高校生の学習継続支援事業

中学生の学習支援事業に参加した生徒が進学後に安定した高校生活を継続できるよう、自主学習の場を提供し、相談に応じる継続支援を実施しました。

高校生等の継続支援 (登録数)	実施回数(回)	参加者数(人)	利用料
5 名(高 1 : 2 名, 高 2 : 2 名, 高 3 : 1 名)	1 0 4	1 2 9	無 料

(9) サービス向上委員会

子育て支援団体や関係機関等の代表者で構成するサービス向上委員会を開催しサービス向上に努めました。

第1回：6月27日 第2回：1月26日

VIII 法人運営

1 理事会・評議員会

【理事会】

回	開催日	場所	出席者数／定数	主な内容
第87回	令和5年 6月9日	区役所	11名／15名	令和4年度事業報告・資金収支決算 等
第88回	令和5年 6月26日	区役所	14名／15名	会長、副会長の選任 等
第89回	令和5年 12月12日	区役所	12名／15名	定款の一部変更、第5次天白区地域福祉活動計画の策定 等
第90回	令和6年 3月22日	区役所	9名／15名	令和6年度事業計画・資金収支予算 等

【評議員会】

回	開催日	場所	出席者数／定数	主な内容
第69回	令和5年 6月26日	区役所	23名／42名	令和4年度事業報告・資金収支決算 等
第70回	令和5年 12月12日	区役所	32名／42名	定款の一部変更、第5次天白区地域福祉活動計画の策定 等
第71回	令和6年 3月22日	区役所	25名／42名	令和6年度事業計画・資金収支予算 等

IX その他

1 天白区東部いきいき支援センター

保健・福祉・医療の側面から、高齢者がいつまでも住み慣れた地域で生活しているように支援するため、平針南・平針・平針北・原・植田・植田南・植田北・植田東・しまだ・高坂・相生の11学区を圏域とする天白区東部いきいき支援センター・分室を運営しています。

【主な取り組み】

① 介護保険予防給付管理事業

要支援及び事業対象者と認定された方のケアプラン作成等を行っています。

	事業対象者	要支援 1	要支援 2
令和 6 年 3 月末給付管理ケース数（延数）	810 件	3,153 件	6,661 件
（内訳）委託ケース（69 事業所）	377 件	1,814 件	4,329 件
（内訳）当センター直営ケース	433 件	1,339 件	2,332 件

② 高齢者総合相談の実施

高齢者やその家族、地域の方からの保健・医療・福祉についての各種相談（虐待相談、成年後見制度、消費者被害など高齢者の権利擁護に関する相談を含む）に応じています。

種 別	新規実数	延べ相談回数
虐待関係	7 件	4 5 件
権利擁護関係	6 件	1 3 件
消費者被害関係	4 件	6 件
健康・福祉・介護等相談	1, 3 1 1 件	2, 9 5 7 件

③ 認知症の人への支援

認知症初期集中支援チームによる認知症の早期発見・早期対応に向けた支援を行うとともに、認知症を介護する家族を対象とした家族教室・家族サロン・もの忘れ相談医による専門相談などを実施しています。また、認知症サポーターの養成講座などを通じ、認知症の人が安心して暮らせる地域づくりを進めています。

実施事業	実施回数	延べ参加者数
家族教室	1 0 回	5 1 名
家族サロン	1 2 回	9 2 名
もの忘れ相談医による専門相談	1 1 回	2 7 名
認知症サポーター養成講座	1 5 回	2 7 8 名

④ 高齢者の見守り支援事業

地域社会から孤立しているひとり暮らし高齢者等を対象に、地域住民、関係機関と連携しながら対象者の把握、個別の支援、地域のネットワークづくりを行っています。

	実績	備 考
対象者数(R6 年 3 月末時点)	2 5 名	
いきいきコール利用者	2 0 名	週 1 回程度の電話訪問
延べ訪問件数	1 8 9 件	
支援ネットワーク件数	2 2 件	近隣住民による見守りネットワーク等

2 天白区介護保険事業所

名古屋市社会福祉協議会天白区介護保険事業所を事務所内に設置し、連携協力しながら居宅介護支援事業及び訪問介護事業を実施しました。

① 居宅介護支援事業（令和6年3月末現在）／ケアマネジャー5名

居宅介護支援給付管理件数	179件
市介護保険認定調査受託件数	62件（年間）

② 訪問介護事業（令和6年3月末現在）／サービス提供責任者8名

利用者数	308名
なごやかスタッフ	72名

令和 5 年度 事業報告の附属明細書

令和 5 年度の実業報告に關して、定款第 4 0 条第 1 項第 2 号に規定する事業報告の附属明細書について、(※) 記載する事項はありません。

※記載する事項…社会福祉法施行規則第 2 条の 2 5 第 3 項に規定する「事業報告の内容を補足する重要な事項」

社会福祉法人 名古屋市天白区社会福祉協議会